津波対策工事にスマートコンストラクション

今後のために
効果を確認

今回の現場は、千葉県の太平洋に面する南九十九里海岸。海沿いに走る道路を嵩上げする津波対策工事で、盛土量は10,000m³。 施工するのは千葉県山武郡の（株）畔蒜工務店様。導入した経緯を現場代理人　宮本明人所長に聞いた。「業界誌に掲載されていた情報化施工の記事を読み、ＩＣＴ建機での施工が標準になる日も近いと感じました。 それならば早めに導入して、効果を確認しようと考えました。業界の人手不足などの課題や工期短縮にも力を発揮しているという担当営業からのＰＲも決め手になりました。」と教えてくれた。担当営業に聞くと、「宮本所長は新技術に対して意欲的に挑戦される方です。i-Constructionが国土交通省から発表された事もあり、スマートコンストラクションを体感して頂きたいと紹介させてもらいました。九十九里海岸は工区ごとに多くの建設業者が携わっていますが、道路の嵩上げ工区で初めてスマートコンストラクションを導入した現場となりました。」と笑顔で話した。

現場代理人 所長
宮本明人さん

千葉県
(株)畔蒜工務店 様

千葉県山武郡の総合建設会社。
1960年の創業以来、
「心で築く豊かな郷土」を
スローガンに、
建設事業を通して郷土の発展と
豊かな暮らしの実現に
力を入れている。

掲載月:2017年9月

スピーディーな施工
ＩＣＴブルドーザ

「申し分ない仕上がりだよ」と宮本所長は話す。「綺麗な施工面に、施工速度も問題ない。 丁張を設置をせずに床付け掘削が出来たし、建機周りの作業が無くなったので建機を止めることなく施工を続けられたのが工期短縮に繋った。確実にロスが少なくなりました。」とＩＣＴ建機を導入した感想を教えてくれた。担当営業は「工区が隣り合う海岸の現場では、他の工区の進捗状況が丸見えです。他工区で施工する方が、スピーディーに施工するＩＣＴ建機に興味を持たれたという話も聞きました。」と話した。宮本所長は最後に、「天候不良で工程が遅れていましたが、ＩＣＴ建機に救われました。従来の建機だったらと考えると、出来形測量までたどり着くのに、どの位掛かっていたか不安になりました。ＩＣＴ建機は予想以上に早く施工してくれた。スマートコンストラクション最高です！ぜひみんなに使ってほしいと思います。」と語った。